

不使用取消審判における「通常使用権」の設定許諾の事実の認定 —大勝軒事件—

知財高裁令和7年2月13日判決（令和6年（行ケ）第10071号）
裁判所ホームページ

知的財産法研究会
弁護士・弁理士 ^{たのうえ} 田上 洋平

第1 事案の概要

本件は、不使用取消審判を請求した原告が、請求不成立の審決がなされたため、商標権者である被告に対して、審決の取消を請求した審決取消訴訟である。

1 本件商標

登録番号：第3105120号
構成：下記のとおり
指定商品：第42類「中華料理の提供」
登録出願：平成4年9月30日
設定登録：平成7年12月26日

大 勝 軒

2 本件に登場する大勝軒

- ・横山町大勝軒（被告）
 - 大正14年 人形町大勝軒から暖簾分けにより「大勝軒」として開店
 - 昭和25年7月14日 法人化により「株式会社大勝軒」に
 - 平成7年5月31日 「有限会社大勝軒」に組織変更（判決は単に「商号に」と記載）
 - 令和元年11月20日 解散 その頃中華料理店も閉店に
- ・人形町大勝軒
 - 大正2年 「大勝軒」の屋号で開店した中華料理店